

越谷市文化連盟

平成13年度

『こしがや文化芸術祭』

平成14年3月3日（日）

# 越谷市郷土研究会 展示部門出品紹介

於 越谷コミュニティセンター ポルティコホール

お お み ち

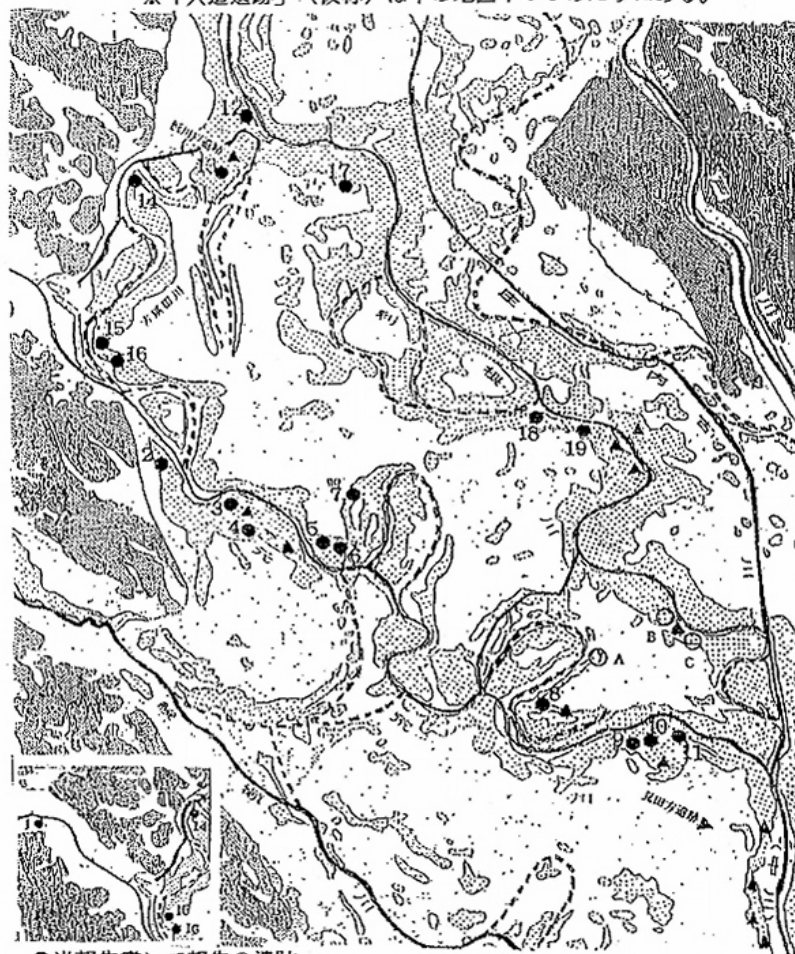
# 大道遺跡

宮 川 進

加 藤 幸 一

## 埼玉県東部低地遺跡分布図

※「大道遺跡」(仮称)は下の地図中の5あたりにある。



●当報告書にて報告の遺跡

▲中川低地遺跡確認調査報告書などで、すでに周知の遺跡

当低地には、他に春日部市宮新田遺跡(弥生中期)があるが、土器出土の正確な場所不明のため、本地図への記入は省略した。

— 現河川 — 過去の河川流路(一部推定)    台地    自然堤防

※土地分類基本表 大宮(埼玉県開発部調査課 73・3発行)、野田(埼玉県内 埼玉県企画開発部土地対策課 80・3発行)の地形分類図を参考とす。

埼玉県東部低地における遺跡調査報告 宮川進 = 越谷市郷土研究会会報第

7号(H4.6刊)の地図に山本泰秀氏の越谷市増林での調査成果を加筆

## 大道遺跡(仮称)

宮川進

市内大道の大道遺跡については、昨・平成十三年秋に、越谷市教育委員会の発掘調査がおこなわれ、平安時代前期(九世紀から十世紀)の六軒の竪穴住居跡などが発見されました。遺跡は元荒川の左岸・自然堤防上にあります。

市内を流れる元荒川の右岸、左岸や古利根川右岸の自然堤防上には、別図の通り、古代に私たちの直接の先輩が暮らした遺跡が数多く眠っています。

大道遺跡に住んだ人たちは、現在の私たちの直接の先祖ではありません。しかし、このような人たちがこの越谷の地に住み、そして、その後も住み続ける人たちがあったために越谷ができ、私たちも越谷に住むようになったのではないのでしょうか。

そういう意味で、大道遺跡に生きた人たちの歴史は「私たちの歴史」です。私たちは自らの歴史を消すようなことがあってはなりません。大切に、大切に、これらの遺跡を保存していきたいものです。

### 《大道遺跡で発見されたもの》

- |                      |    |
|----------------------|----|
| ◎平成時代(九世紀から十世紀)の住居跡  | 六軒 |
| ◎中世から江戸時代の掘立柱建物跡     | 一棟 |
| ◎土師器・須恵器(甕・鉢・皿など)    | 多数 |
| ◎その他 漁業用土錘(おもり)、砥石など |    |

※土師器・弥生土器の系譜につながる、古墳時代以降の素焼きの赤褐色の土器。文様は少なく、実用的で、煮炊きや食器に用いるものが多い。

※須恵器・古墳時代後期から奈良・平安時代に行われた、大陸系技術による素焼きの土器。高温の還元炎で焼くため暗青色を呈する。(此続より)

## 2. 古隅田川水系

12	右	土師器	古墳・奈良・平安	春日部市梅田1丁目468他	五領式を含む
13	左	須恵器	奈良・平安	春日部市浜川戸2丁目2-14	浜川戸遺跡西限か
14	左	縄文土器	縄文時代中期	春日部市新方袋宮川耕地	
15	左	土師器 須恵器	古墳・奈良・平安 奈良・平安	春日部市増戸字天神原229他 真狐原16他	針状物質
16	左	土師器 須恵器	古墳・奈良・平安 平安	岩槻市長宮字前田1199他	針状物質

## 3. 古利根川水系

17	左	土師器	古墳時代前期	春日部市南3丁目14-4付近	五領式
18	左	須恵器	平安	越谷市船渡2101	
19	左	土師器	平安	越谷市船渡字下川原2322他	

## 3. 古利根川水系 (山本泰秀氏による成果)

番号	右左岸	採集遺物	時代	所在地	備考
A	右	弥生土器	弥生時代後期	越谷市増林1-33.34 47-49	
		土師器	古墳時代前期		
B	右	須恵器	奈良・平安	越谷市増林2662付近	
C	右	縄文土器	縄文時代中期	越谷市増林4323-1他	
			縄文時代後期		
		土師器 須恵器	古墳・平安 古墳・平安		

## 1. 元荒川水系

番号	右左岸	採集遺物	時代	所在地	備考
1	右	縄文土器 土師器	縄文時代中期 奈良・平安	岩槻市金重飛地字里477他	
2	右	須恵器	奈良・平安	岩槻市飯塚字古川	針状物質
3	右	土師器 須恵器	平安 奈良・平安	岩槻市末田字宿1494他	針状物質
4	右	土師器 須恵器	奈良・平安 奈良・平安	越谷市野島278他	
5	左	土師器 須恵器	奈良・平安 奈良・平安	越谷市大道字上手85他	針状物質
6	左	土師器 須恵器	奈良・平安 奈良・平安	越谷市大道字上手187他	
7	左	土師器 須恵器	古墳・奈良・平安 奈良・平安	越谷市大竹字西浦	
8	左	土師器 須恵器	奈良・平安 奈良・平安	越谷市東越谷3丁目15他	針状物質
9	右	土師器	平安	越谷市相模町6丁目487付近	
10	右	土師器	奈良・平安	越谷市大成町1丁目2180	
11	右	土師器	奈良・平安	越谷市大成町1丁目2268-1他	

針状物質と注のあるものは須恵器のなかに針状物質を含んでいるもので、埼玉県内南北企鵝跡群でつくられたと推定される。

## 堀立柱建物跡は、 「帰命院」と呼ばれる寺院跡

加藤 幸一

平成十三年秋に試掘調査が行われた大道遺跡のうち、香取神社南側の畑地から出てきた堀立柱建物跡は江戸時代の「帰命院（きみょういん）」と呼ばれる寺院跡と推定できる。

この地には以前から「寺院があった」との言い伝えがあり、この言い伝えが一層確かなものとなった。この遺構のさらに南方の道路側にはその名残としての墓地が見られる。では、「その寺院の名称は」となると、誰も答えられる者がいない。

江戸時代に作成された『新編武蔵風土記稿（しんぺんむさしふどきこう）』に記載された大道村の寺院は二つあった。明治の初め頃に全国的に荒れ狂い、わが国の仏教界に大きな打撃を与えた「廃仏毀釈（はいぶつきしゃく）」の運動がこの地にも当然及んで、二つの寺院が廃寺となってしまったのである。それは、正福院（しょうふくいん）と帰命院である。明治に作られた『武蔵国郡村誌』には次のように記載されている。

正福院廃跡 村の南の方にあり、明治七年廃して今は村民の宅地となる。  
帰命院廃跡 村の西の方にあり、明治七年三月廃して今は村民の畑地となる。

正福院については、現在の八坂家（やさかけ、大道四八七）敷地内にあったことが八坂勲氏からの聞き取り調査により判明した。するとこの堀立柱建物跡は、もう一方の寺院である帰命院に違いないのである。

この寺院は、『新編武蔵風土記稿』によると、本尊が不動明王（ふどうみょうおう）となっている。現在、南側にある道路に面した所に寺院の本尊としてふさわしい不動明王像が祀られている祠がある。この不動明王像が帰命院の本尊と思われる。

参考までに、帰命院について『新編武蔵風土記稿』に記載された内容や試掘調査などをもとにまとめてみると次のようになる。

帰命院は、江戸時代に存在していた真言宗の寺院。隣の三之宮村にある一乗院の門徒が営んでいた。帰命院は香取神社と隣あっていて、香取神社の南側にあった。本尊は不動明王で、現在、さらに南側にある道路の路傍に帰命院の本尊と思われる不動明王像が祀られた祠がある。

# 越谷市郷土研究会に入ってみませんか！

## 越谷市郷土研究会とは (平成14年2月現在)

- ◎史跡めぐりなどのイベントを毎月実施し、また、毎年、越谷市民まつり・越谷市民文化祭・こしがや文化芸術祭に展示部門で参加しております。
- ◎当会は、昭和40年(1965)3月に発足しました。以後地道に活動し、現在は会員数が280名程の大所帯となりました。研究発表会は131回、史跡めぐりは299回を数えるまでになりました。
- ◎当会の平成12年以降の主なイベントをあげますと次のとおりです。
  - 平成12年1月30日(日) 講師 元埼玉県立さきたま資料館長大村進氏「創立35周年記念講演会—畑三郎誕生—」(後援は越谷市教育委員会・刈穂)
  - 平成12年9月2日(土) 平成12年度「歴史講座」を開始(全5回)。
  - 平成13年8月26日(日) 奥州街道400年・記念歴史講演会(釜の橋南蔵)
  - 平成13年9月24日(月) 奥州街道400年・記念史跡めぐり(群・蘭館)
  - 平成13年10月8・13日 奥州街道400年・記念史跡めぐり(藤谷・北郷)
  - 平成13年11月18日(日) 奥州街道400年・記念史跡めぐり(北郷・北郷)
- ◎会報『古志賀谷』の隔年の発行(B5版、百十~百五十頁程度)内容は主に会員による郷土の調査・研究の報告や随想の寄稿文などです。昨年6月に会報『古志賀谷』十一号が全会員に無料配布されました。
- ◎平成13年3月4日(日)の「こしがや文化芸術祭」におきまして、秘蔵の「増林の円空仏」を一般市民に初公開することができました。

※なお、以上の他に、三宅島噴火・避難村民のためのカンパ活動や越谷市社会福祉協議会への寄付活動などもおこなってきました。

## 郷土研究会にお入りになりますと

- ◎すべてのイベントの案内が受け取れます。せっかくよい行事があったのに知らなかった、ということがありません。
- ◎会員だけのための特別行事に参加できます。郷土研究会の会員限定イベント、例えばバス史跡めぐり等にも参加できます。

## 郷土研究会にお入りになるには

- ◎会費は、年間2千円(4月~翌年3月、会報・諸案内状・諸会議費等)です。どなたでも気楽に入会できます。市外の方でも歓迎致します。
- ◎申し込みは、はがきに「平成何年度より入会」とお書きのうえ、住所・氏名・電話番号を記入し、下記までお寄せ下さい。または、当会の各種行事の際に、郷土研究会役員までお申し込み下さい。

☎343-0806 越谷市 宮本町 3-117-8 谷岡隆夫方  
越谷市郷土研究会  
☎048-962-7527

## 最近の「歴史講座」の紹介

- 第1回 「秩父原人の時代—旧石器時代の謎—」(平成12年9月2日[土])  
講師 埼玉県埋蔵文化財調査事業団 石岡憲雄氏
- 第2回 「三内丸山人の時代—縄文時代の謎—」(平成12年10月21日[土])  
講師 埼玉県埋蔵文化財調査事業団 石岡憲雄氏
- 第3回 「吉野ヶ里人の時代—弥生時代の謎—」(平成12年11月11日[土])  
講師 越谷市教育委員会 橋本充史氏
- 第4回 「古墳時代を見通す—邪馬台国・ヤマト政権と古墳時代の謎—」(平成13年1月21日[日])  
講師 埼玉県埋蔵文化財調査事業団調査部長 高橋一夫氏
- 第5回 「石と水の都・飛鳥」(平成13年2月10日[土])  
講師 埼玉県立越ヶ谷高校 高崎光司氏

※なお、昨年(平成12年)の12月16日(日)に歴史講座「七福神」(山崎)がありました。

## 最近の「史跡めぐり」の紹介

- 第285回 1月 3日(水)「隅田川七福神めぐり」(山崎)
- 第286回 2月25日(日)会員限定「北条時宗の鎌倉」(割塚)
- 第287回 3月25日(日)「石仏めぐり(旧増森・中島村)」(加藤)
- 第288回 4月 8日(日)会員限定「会員お花見(本門寺・池上梅園)」(山崎)
- 第289回 4月29日(日)「ラーメンと古墳と弥生の大遺跡」(割塚)
- 第290回 5月27日(日)「水川神社の参道から大宮公園」(元、さきたま資料館長の大村進氏)
- 第291回 7月19日(木)会員限定「バスツアー・寄居方面(川の精舎、新形橋など)」
- 第292回 9月24日(月)奥州街道400年・記念史跡巡り「越谷南部」(高橋)
- 第293回 10月8・13日 奥州街道400年・記念史跡巡り「越谷中部」(加藤)
- 第294回 10月27日(土)「目黒方面、大円寺・蛸薬師・羅漢寺など」(菅波)
- 第295回 10月29日(月)「越谷市内・大道遺跡の発掘を見る」
- 第296回 11月18日(日)奥州街道400年・記念史跡巡り「越谷北部」(高橋)
- 第297回 12月 2日(日)奥州街道400年・番外編「大沢宿めぐり」(藤谷)
- 第298回 1月 3日(木)「谷中七福神めぐり」(山崎)
- 第299回 2月17日(日)「鎌倉・長谷観音、鎌倉大仏とその周辺」(割塚)

## 最近の「研究発表会」の紹介

- 第129回 6月24日(日)「資料館都市構想」(割塚)
- 第130回 8月26日(日)「奥州道中の成立」(釜の橋南蔵)
- 第131回 1月20日(日)「越谷の力士と行司」(高橋)